

# 中小企業ぎふ

Vol.687

2023年11月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号  
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

**連携の力で無限の可能性にチャレンジ!**  
～中央会は、組合・中小企業の変革・挑戦を応援します～



「ひらゆの森」の雄大な露天風呂、スノーシューツアーとe-bikeツアーの様子

## 組合紹介 2~3

土岐市陶磁器卸商業協同組合

## クローズアップ企業 4~5

平湯温泉旅館協同組合 組合員  
「株式会社ひらゆの森」

## 専門家コラム

「今をどう見る～生き残りツールとしての情報」 6~7

## 中央会の活動 8~13

- ・第75回中小企業団体全国大会(宮城県)の報告
- ・キッズ向け組合まつりを開催
- ・ドローン活用セミナーを開催
- ・インボイス制度対策セミナーを開催
- ・人材定着支援セミナーを開催
- ・サイバーセキュリティ対策セミナーを開催
- ・県へ官公需に関する要望
- ・官公需フォーラムを開催
- ・青年中央会 ガヤガヤ会議を開催
- ・レディースクラブが「全国フォーラム」に参加
- ・組合まつりinTOKYOへ出展
- ・あいおいニッセイ同和損害保険との連携協定「締結記念セミナー」を開催

## 組合等の活動 13~15

- ・(協)飛騨木工連合会  
2023飛騨の家具®フェスティバルを開催
- ・岐阜オートバイ事業(協)  
県立岐南工業高等学校で交通安全教室を開催
- ・多治見美濃焼卸センター(協)  
第79回たじみ陶器まつりを開催
- ・(協)土岐美濃焼卸センター 織部ヒルズ陶器市を開催
- ・多治見陶磁器卸商業(協)  
青年部「SPICE UP! Carnival 2023」カレーと美濃焼と音楽の祭典を開催
- ・岐阜県陶磁器工業(協連) 美濃焼新作展を開催
- ・下石陶磁器工業(協)  
下石どえらあええ陶器祭り、土岐紅陵高校とのコラボ事業を実施
- ・(協)日本ライン花木センター 50周年記念式典を実施

## 全国の先進組合事例 16

- ・千葉県電気工事(工組)

## 景況レポート 17

## インフォメーション 18

- ・中央会人事異動等のお知らせ
- ・DXについて知ろう!

## (公財)産業雇用安定センターからのお知らせ 19

## 海外知財訴訟費用保険制度のお知らせ (全国中央会) 20

# 組合紹介

## こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



### 土岐市陶磁器卸商業協同組合

- 理事長 安藤 浩市
- 組合員数 76名
- 設立年月 1991年4月
- 住所 土岐市土岐津町高山4番地
- TEL 0572-53-0005

### 「社会からお客様から必要とされる会社・組合になろう」 をキャッチフレーズに活動

#### ◆組合の歴史・活動

#### ■5つの地域の陶磁器卸商業組合を集約して組合スタート



安藤理事長

土岐市は、美濃焼の一大産地で現在も日本一陶磁器の生産量が多い地域です。市内には町毎に産地が形成され、製造業者とともに販売を担う陶磁器卸商社が存在し、それぞれに事業協同組合も設立されていました。平成3年に土岐市の

駄知町、泉町、下石町、肥田町、土岐津町の5地域に組合があり、集約化により合理化を図るため、当時の役員が方向性を統一し、各組合は発展的解散を行い、同年4月1日に新たに組合を設立したのが始まりです。共同事業としては、包装資材の共同購買、陶磁器商品の共同販売・共同受注、各種保険、ガソリン、燃料等の共同集金、現在の高速度道路等通行料金大口・多頻度割引制度に関する事業、損害保険の代理店業務等の各種事業を行っています。

事務所は、土岐市土岐津町の「セラトピア土岐」内に設置し、平成21年度から同施設の指定管理を受託し、施設内のショップでの共同販売とともに指定管理事業を行っています。

#### ■組合のオリジナル商品としての高強度磁器の展開

組合では、従来の組合事業では先細りになり、組合員が必要とする新たな事業を展開する必要を感じていました。土岐市では、陶磁器産地であることから、以前より学校給食に陶磁器の食器を使いたいという考えを考えていました。このため、土岐市陶磁器試験場で、昭和60年にファインセラミックスの技術を応用し高強度の磁器製食器を開発していました。組合では、当時の環境ホルモン等による社会問題化、食育という観点からも学校給食等への本格導入に着目し、組合の新たな事業として、高強度磁器の技術を活用した組合のオリジナル食器を土岐市の協力のもと開発。組合が販売権を持つ「高強度磁器製食器」を平成3年から各地に販売

特約店を設置し本格的に全国販売を開始しました。その特徴は、通常の食器より割れにくく、耐熱性に優れている点です。行政が認める基準の商品で、組合で商標登録を行い、信用力と差別化を図っています。この結果全国の施設1300か所以上の納入実績があります。



組合の高強度磁器食器

#### ■地域との関わりや行政との連携が不可欠

美濃焼は地域の方にもご利用いただいております。また、この地で商売をしていることへの感謝もあります。このため、地域との関わりや、行政との連携は組合にとって不可欠と考えています。

平成27年4月に、NEXCO中日本が土岐市土岐ヶ丘にオープンした複合商業施設「テラスゲート土岐」内に、土岐市からの声もかかり、組合直営のショップを出店しました。現在は、店舗の形態が変わり「もてらす東美濃」となり、引き続き組合から商品の供給を行い、共同販売としての販売チャンネルの一つとして機能しています。

令和4年10月には、土岐市土岐津町に「イオンモール土岐店」がオープンしました。土岐市販売戦略等チャレンジ協議会が美濃焼のチャレンジショップを出店したため、組合がオープン当初から商品供給、運営協力を行っています。また、例年セラトピア土岐周辺で行っていた「TOKI陶器まつり」をリニューアルし、イオンモール土岐店で春のお祭りとして「第27回春の土岐市美濃焼大陶器市」を開催しました。秋には主催団体が違うものの運営協力は組合が行いました。各イベントでは、ステージイベントなども行いますが、企画から手配まで全てを組合事務局が行っています。

地域への感謝と行政との連携の中で、土岐市の美濃焼に関するイベント等は、当組合の協力が欠かせないものとなっており、地域やお客様に必要とされる組合として活動しています。



土岐市美濃焼大陶器市の様子

#### ■新しい取り組みへの挑戦と徹底した組合員ニーズへの対応

組合では現在の課題に対し新しい取り組みを積極的に行っています。1998年の美濃焼生産販売実績（岐阜県陶磁器工業（協連）調査結果）において飲食器では561億円あったものが、2022年では147億円と、24年間で26%にまで減少しました。美濃焼が得意としていたお値打ちで良質な食器類を、中国製など安価な商品が流入することで市場が圧迫されました。その中で、海外販路の開拓という課題にも対応しました。平成23年からコロナ禍前まで各国の展示



会等に出展し、流通にも成功しました。組合員が海外展開するきっかけにも繋がっています。また、今までの取り組みの中で組合事務局が培った海外取引のノウハウは、今後、組合員の海外展開の助けになれると考えています。

コロナ禍では、巣ごもり需要などネット販売が一層着目されるようになり、組合では令和2年からネット販売を本格化させました。組合のオンラインショップからの受注情報は一元管理され、物流倉庫でのピッキングから発送、代金決済、組合員の支払い、受発注管理までシステム化されています。



リニューアルの「陶土う庵」

オンラインショップ開設当初は、行政の補助事業も活用し、消費者の送料負担が軽減されたため、数カ月で700万円程の売上がありました。

また、国の補助制度

を一部活用し、令和5年4月に、セラトピア土岐内の組合直営のショップ「陶土う庵」をリニューアルオープンしました。来客は、施設のイベント時など限られています。実店舗とオンラインショップを併用した販売方法で運営しています。

こうした、多くの販売チャネルを展開するために、職員も配置していますが、ホームページの運営、実店舗での商品レイアウト、ポップの設置などすべて内製化され、フェアの陳列をはじめ販売に関する人材も育てている状況です。システムでの一元管理による作業の効率化がこうした取り組みに繋がっています。

また、組合ではさまざまな商品を扱えるため、ふるさと納税の返礼品にも採用されています。

## ■青年部を中心に土岐市美濃焼ロゴマークを設定

組合では、土岐市美濃焼としてのロゴを設け、以前から段ボール箱などに使っていました。しかし、マークだけに過ぎなかったため、ブランディングの重要性を改めて認識する中で、美濃焼ブランドを見える化することにしました。平成27年度から青年部を中心としたマーケティング委員会が担当し、岐阜県中央会の専門家派遣を活用し、美濃焼の基準と想い、コンセプト等を整理しました。翌年にはその内容をもとに、デザイナー

による数点の案から検討し、ロゴという形を設定することができました。国内向けと海外向けのロゴを設定し、名刺やパッケージ、商品に貼るブランドシール、幟などを作り、もちろん土岐陶器祭りにも使っています。統一ロゴができたことで、ブランドとしての認知度を高めようという意識の高揚に繋がっていることや、営業で美濃焼ブランドとしての話題にもなり、少しずつ浸透しています。

## ◆組合が目指す方向性とは

### ■地域に愛され 地域に貢献できる組合を目指す —美濃焼「業界」の継続支援—

美濃焼業界は昔から分業体制です。陶磁器卸商社は美濃焼を売ること、業界での役割を果たしていると考えています。組合は、組合員のために支援を行うのは当たり前ですが、地域に愛され、貢献することで、地場産業である美濃焼業界に対する信頼や憧れが増し、業界の発展に繋がると思っています。

業界が厳しい中、組合員数は設立時の4分の1にまで減少しましたが、組合が組合員に負担を求めるのではなく、組合の経済的な自立性を確保しながら、人材を更に育成し、販売に対する内製化の強化、組合員を後方支援できる能力の向上、組合を利用して組合員各社が発展できるような体制となるよう努めております。

組合では、多くの補助事業に取り組み、組合事務局にはそのノウハウが蓄積されています。組合では今後も補助事業を活用し組合活性化を目指すとともに、組合員にそのノウハウを提供し、事業支援を行っていきます。

今年度は、組合の小売機能である直営ショップ「陶土う庵」、オンラインショップ、もとてらす東美濃等の販売チャネルの販売力強化、ふるさと納税返礼品のアイテム強化と売上拡充、会員相互の連携、美濃焼メーカーとの連携による「ものづくり」強化などを活動方針としています。この方針のもと、組合員の資質や企業のレベルの向上を目指しています。冒頭のキャッチフレーズにもありますが、卸売業ではありますが、組合を通じ小売機能が多く入ってきています。直接お客様と接する機会が増えているため、社会やお客様から必要とされる会社・組合になり発展していきたいと思えます。

## 業界豆知識

青年部が中心となって「土岐市美濃焼ブランド」のロゴマークを設定しています。美濃焼への想いを込めたロゴマークをご紹介します。左が国内向け、右が海外向けで、商品にも活用しブランド化を図っています。



## 土岐市美濃焼ブランド —ブランド・ロゴマークのご紹介—

### ロゴマークについて

いつも暮らしのまん中に。ニッポンのまん中から。世界へ発信。

**カラー** 日の丸の、「赤」と「白」をイメージ。日本を代表するという意思を込めています。

**ワード** シェア50%以上という事実のもと、その品質、誇りと共に、暮らしのまん中で、豊かさを届ける陶器でありたいという思いを込めています。

**デザイン** 日の丸をイメージしつつ、陶磁器、中でも暮らしのまん中にある象徴として、「碗」の底をイメージした円を中心としたデザインです。この円は、日本のまん中に位置する、「美濃地方」をも表し、ここから、広く世界へと発信していくという思いもこめてあります。四隅の三角は、土岐市、多治見市、瑞浪市、可児市を現し、「暮らしまん中」：「MINOYAKI」の文字がラインから飛び出ること、粋にはまらない大きな発信をしていく思いをこめています。

# クローズアップ企業

平湯温泉旅館協同組合

## 株式会社ひらゆの森

《企業概要》

所在地 高山市奥飛騨温泉郷平湯763番地の1

電話 0578-89-3338

代表 代表取締役 山田 幸一

主な事業 その他の公衆浴場業、宿泊業、飲食サービス業、旅行業



「ひらゆの森」外観

### 「地元を盛り上げる」をコンセプトに、 奥飛騨地域の魅力を届ける

◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

#### ◆ 鉱山の保養所を前身とする平湯温泉の共同浴場



山田社長

当社は、平成9年に平湯温泉の共同浴場復活プロジェクトとして開設されました。その前身は、三井金属神岡鉱業（株）（以下神岡鉱業（株））が昭和30年代後半から上宝村（現在の高山市北東部）にて所有していた凡そ50,000㎡の土地内

にあった神岡鉱山の保養所があたります。

保養所時代は、予約が取れず、枠をくじ引きで決めていたと言われるほどの人気を誇っていましたが、時代の移り変わりもあり、平成8年頃に神岡鉱業（株）より保養所を閉鎖し、土地を村に返したいという申し出がありました。当時の村の財力では土地を買い戻すことは難しく、代わりに外部の大手企業が購入する可能性もありましたが、地元は地元で負担をしてでも守ろうという強い思いから、旅館業を中心とした地元企業の共同出資等により当社の設立及び資金の調達を実現、当時の神岡鉱業（株）の社長がこの思いに応えたこともあり、結果として土地は地元の人達の手に戻ることとなりました。

その後は、冒頭で述べた通り、平成9年より広い土地を利用して作り上げた露天風呂（当時は計13ヶ所）を目玉とする日帰り温泉施設を開設するとともに、保養所の客室を活用して、株主である旅館経営者の方々と客層が被らないように一人旅や素泊まりのお客様を対象として受け入れるスタイルで営業を開始しました。当時はまだ珍しかったこのスタイルが時代のニーズに合致していったことや安房トンネル開通による関東圏からの来訪者の増加、登山ブーム、平湯地域への早期到着時や悪天候時にも気軽に寄れる施設であることなどを理由に人気を博し、当初の目的であった年間10万人をわずか3、4年で達成。その後も順調にお客様が入り続け、当初の施設のままで手狭になったため、平成16年12月に改修を実施し今の「ひらゆの森」の施設形態へと至りました。

◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

#### ◆ 白猿伝説の残る歴史ある天然温泉

平湯温泉は奥飛騨温泉郷を構成する5つの温泉地（平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高）の中で最も古く、その開湯は戦国時代と云われています。武田信玄旗下の軍勢が飛騨攻めの峠越えで力尽きかけた時、白猿によって導かれた温泉に浸って疲労を回復したという伝説があるほか、実際に江戸時代の参勤交代の際には北陸の大名達が当地で疲れを癒したという記録も残っています。

その特徴は、高い温度と湯量（60℃以上の高温泉の総湧出量は8,600ℓ/分）、白濁かつ硫黄の香りがあり、日本三名泉の1つである下呂温泉がアルカリ性なのに対して平湯温泉は弱酸性である点などが挙げられます。当施設においても、計16か所の露天風呂にて、白濁した「ひらゆの森の湯」と無色透明な「水石の湯」の2本の源泉から合わせて毎分約600ℓ、67℃の源泉を、濾過循環を行わない完全なかけ流しで使用しています。

また、これは当施設に限らず平湯全体の特徴になりますが、宿の数よりも源泉の数が多いため、各施設や旅館ごとに温泉の湯船に入っている湯が殆ど違っており、その湯はその場所ですしか入ることができないという魅力もあります。



男女で合計16の露天風呂

#### ◆ 温泉を活かしたオリジナルグッズを展開

当社では、10年ほど前から平湯温泉にちなんだグッズを取り扱っています。プロデュース会社からの提案をきっかけに、ひらゆの森の温泉成分を含んだボディークリームや化粧水、濃縮温泉水、薬用入浴剤、シルク石鹸、オリジナルタオルなどを作成しました。

特に、シルク石鹸は特徴的で、かつて奥飛騨で盛んで



あった養蚕をひらゆの森で再現し、温泉熱を利用した養蚕で得たシルクを成分として含んだ肌に優しい石鹸に仕上がっています。現在、製造過程の負担面等から製造は終了しており、在庫分のみの取り扱いとなっていますが、女性からの評判が高い商品の1つとなっています。

今後はアウトドアブランドとのコラボTシャツをはじめとしたオリジナル商品や地域性の高いお土産を創り出していき、次世代の若者や外国人のお客様にも手に取ってもらえるような売店の商品構成にしていきたいと考えています。



多種多様なグッズ

### ◆季節のツアーで平湯地域の魅力を体験

当社は、第2種旅行業に登録しており、「TSひらゆの森」として当社関連施設をご利用のお客様に限らず、平湯温泉に訪れてくださる全てのお客様を対象に、季節に合わせたツアーの提供も行っています。ノルディックウォーク形式で平湯を散策する名所探訪ツアーや2種類のコースから選べるe-bikeツアー、星空を鑑賞するナイトツアー、真冬の平湯を体験できるスノーシューツアー、本格的な冬の上高地トレッキングツアーなど様々で、季節やお好みに合わせてお選びいただけます。

特に、冬季の平湯スノーシューツアーと上高地トレッキングツアーは人気が高く、どちらもガイド同伴の下、雪の上をス



真冬の上高地

ノーシューで歩くという珍しい体験をしながら、冬の大自然を堪能していただける内容となっています。前者は本格的なウィンタースポーツには不慣れな方や気軽に雪遊びを楽しみたいという方におすすめのツアーとなっており、後者は冬登山に準ずる装備が必要とはなりますが、山岳ガイドが同行するため安心して上高地の冬の絶景をお楽しみいただけるツアーとなっています。

### ◎組合に期待することは何ですか？

#### ◆新たな時代に適応し、共に地域へ貢献する組織として

当社は、奥飛騨温泉郷平湯にて旅館業を経営する事業者によって構成されている平湯温泉旅館協同組合に加入しています。組合を取り巻く環境は設立当初とは大きく変化し、かつてと同じように事業を継続していくことは難しくなっています。当組合においても、事業収益の主軸であった案内手数料の減少や共同購買のメリット低下などにより組合の存在意義が課題となっています。組合の今後としましては、今までとは違った発想の事業を実施することで組合員が組合に所属する意味を見出せるような環境を作り、同じ地元に貢献する組織として協力しあっていければと考えています。

### ◎御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

#### ◆コロナ禍を乗り越えたその先を見据えて

当社としては、コロナ禍が明けた今後の3年が勝負であると考えています。現在の需要は、我慢していたものが爆発している可能性も否定できず、今後も同様の傾向が続くとは限りません。コロナが社会に与えた影響は大きく、需要と供給の動向や行動・思考パターンの変化、娯楽や生活ツールの電子化の助長など様々で、とりわけコロナによって様変わりしたこの3年間の生活や教育環境が子供達に与えた影響は大きかったと思います。そういった環境下で生まれてきている新しい考え方を持った若者の存在や現在のメイン利用者層の方々が高齢であることなどを考慮しますと、数年後も同様のやり方で客入りを維持できるかは不透明であると言わざるを得ません。ゆえに、今の段階から次世代のお客様となる層の思考や需要を理解し、それ合わせた運営方法を考えていく必要があると感じています。そして、当施設の経営を通して、ますます地元を盛り上げていくことができればと考えています。

### 【組合概要】

平湯温泉旅館協同組合

代表理事 山田 幸一（株式会社ひらゆの森）

岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯763番地の191

組合員数：16名

主な事業：共同購買事業、観光案内業務、リネン取扱斡旋事業

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

## 今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

### なぜブラック企業になってしまうのか ～中小企業経営者の自戒すること

ブラック企業という呼び名が定着してかなり経つ。しかし、相も変わらずあちこちで、さまざまな問題を引き起こす企業が多いのはなぜだろうか。

今回は、少し中小企業経営者の観点から考えてみよう。

#### ・経営者と従業員とは違う

現在は中堅企業として成長したある企業の経営者にこんな話を聞いたことがある。

「創業してやっと軌道に乗り、さあこれからという時になって、次々と従業員が辞めていった時期があった。創業の時から信頼してきた従業員も辞め、何が問題なんだろうと、落ち込んで考えた時に、知人の経営者から忠告された。経営者と従業員とは違うと。」

実は、この違いを理解しないために、ブラック企業に成長させてしまう経営者は少なくないのだ。「創業時からの同志」、「一緒にこの会社を成長させる仲間」などと思っていたら、相手はそうは思っていなかったということである。

#### ・オーナー経営者は創業利益を得ることができる

「創業の時、経営者である私も従業員も一緒になって、土日もなく得意先を回り、毎日深夜まで、時には朝まで激論を交わしていた。」などと言う話を、時折、成功している経営者から聞く。もちろん、その美しい思い出に水を差すつもりはない。しかし、こういった発言の後に「それに引き換え、今の従業員は、」と続くのはいただけない。

ある経営コンサルタントは指摘する。「中小企業の場合、資本と経営が分離されていないため、経営者イコール投資家であり、企業の価値が上がれば、それだけ保有している資産の価値が上がることになる。しかし、従業員は、時間単位で労働力を提供し、その対価で給与を得ているわけで、その点の違いを理解しようとしないう経営者が少なからずいるのは事実。」

#### ・なんでも立ち上げる時はおもしろい

創業時は、経営者も従業員も関係なく、一緒ががんばってやってきた。それは毎日が楽しく、明るい未来を夢見ていることである。なんでもそうだが、立ち上げる時は楽しいし、みんなお金のことなど細かく言わずに手伝ってくれる。しかし、それは経営者も従業員も等しく貧しく、豊かになることを夢見る時期だからだ。

しかし、経営が軌道に乗ってくれば、そうした雰囲気のままではやっていけない。ましてや、一般企業になっているのに、従業員たちにその当時と同じように「無賃労働」を要求するようになっていっているのでは、経営者としては失格と言わざるを得ないだろう。

#### ・「やりがい搾取」と若者たちが呼ぶもの

若者たちが、「やりがい搾取」と呼ぶものも、まさにそれと同じである。

ひどい労働環境にも関わらず、なぜ従業員が辞めないのか不思議な企業がある。実際に社会問題にもなったある企業に就職した息子を辞めさせたいと筆者に相談してきたご夫婦がいた。

母の日に「こんなに素晴らしい息子さんを産んでいただき、ありがとうございます」と花束を贈ってくる一方で、息子の持っていた研修資料には「お前たちが、うちの企業にしか入れなかったのは、お前たちの親がだめだから。これからは、社長を真の父と思って、言うことを聞け」と書かれており、この夫婦はショックを受け、辞めさせることにしたのだ。

「しんどいのはどこの会社も同じ」、「うちぐらいやりがいがある企業はない」などと教え込まれてしまっていた息子を辞めさせるためには、まずその会社の悪口は言わず、とにかく家業を継いでもらわないと困ると言うようにアドバイスし、なんとか事なきを得た。

しかし、こうした若者たちを騙すような形で雇用していても、いずれは破たんする。そもそもが、このような形で継続する従業員たちは、「社長の言うことさえ聞いていればよい」という考えに陥り、この息子が勤めていた企業もほどなく法令違反などが明らかになり、社会問題となった。

#### ・疎外されるブラック企業

経営者の言うことさえ聞いていればよいという体制は、ある意味、経営的には楽である。自らの考えや意見を批判する従業員はいなくなる。上意下達で徹底されるので、ある意味、統率の取れた企業に見える。しかし、その一方で、意に反するのは去れという方針が、次第に経営を蝕んでいく。

先日もある企業のことについて、取引を始めようかと言う企業から相談があった。調べてみて驚いたのは、転職相談サイトに書き込まれたその企業の口コミだった。「社長の意見に反対するものは、辞めろという会社」、「採用時の社長の説明はすべてでたらめ」、「また外注先を電話で怒鳴りつけている。いい加減にしてほしい。」などなど、良いものは一つも無い。もちろん、その企業とトラブルを起こして辞めた人などが、嫌がらせて書くということもありうるが、これほど長期的に多くの人間が書き込んでいるケースは珍しい。外注先のトラブルに触れている書き込みも少なくなかった。

元々、この企業の経営者の言動に不信感を抱いていた相談者は、取引を断る決断をした。「その企業の地元の経営者に聞いても、あそこはねえと言葉を濁していた。企業経営者仲間もいないよという人もいた。うちの従業員たちと相談し、こうしたブラック企業と取引しても、長期的に考えたらマイナスだと判断して断った。」と言う。



社内では、「王様」になれても、次第に同業他社や地域の企業の中から、悪い意味で一目置かれ、次第に疎外されてしまう結果となる。さらに、以前とは異なり、経営者の知らないところで、例えばこうした転職サイトで情報が流れることで外部でも弊害が拡大する。

### ・時代によって異なるブラック企業

ブラック企業の基準も、時代によって変化してきた。1980年頃には、男尊女卑が当たり前で、女性の結婚退職も当たり前だった。しかし、現在は、女性の社会進出も進み、意識も大きく変化した。

大企業を中心に、労働力不足を背景にして、女性の正社員登用、継続雇用などが当然となり、最近では男性の育休制度なども充実してきた。

「私は、そんなことは認めない」、「うちの会社は男の職場だから」といった経営者もまだまだみえるが、それはすなわち「女性従業員はいらない」、「子育てをしたいというような男性も従業員としてはいない」と言っているのと同義だ。

実は、子育てを夫婦一緒にしたいと考える男性は、若い世代ほど増えている。古い考え方を押し付けければ、「この会社は、結婚にも、育児にも理解のないブラック企業だ」と従業員たちに思われてしまう。

多くの企業で多様な人材を採用し、その多様性を受け入れ

ようという流れの中で、頑なに経営者の思想や考えを押し通すことによって、採用できる人材を狭めることは、経営に大きな問題を生じさせることは確かだ。

### ・ブラック企業にならないためには

ブラック企業にならないためには、なにが必要なのか。ある中小企業の経営者は、社外の人脈が重要だと言う。

「父から経営を引き継いで、やる気だけで空回りし、会社のルールブックは俺だなどと言っていた時に、社外の勉強会で知り合った社労士の先生に、お前は会社を潰すと一喝された。義理人情も大切だが、そんな証拠もないような言わないでもめるような環境で、従業員は安心して働けるか、馬鹿者と言われた。」

この経営者は、その警告に耳を貸し、労働契約書を作成し、個々の従業員と交わすことにしたという。

「考えてみれば当たり前の話で、お互い契約を守り、働き、給与を払い、そしてその上での義理とか人情だ。しかし、今から考えたら、よくあの時に怒ってくれたと思います。」

別の経営者は、「冷静に判断してくれるサポート役を見つけることだ。」と言う。もちろん、最も良いのは補佐役として、副社長や専務、常務などで働いてくれる人材がいれば一番ですが、中小企業の場合、なかなかそういう人材を確保することは難しい。

「はっきり意見してくれる方を社外重役としてお願いをする。常勤ではないけれど、毎期毎期、経営に関して意見してくれる。いつ辞めてもいいんだから、好きに言わせてもらおうと言われているので、怖いですが。」

### ・ブラック企業は長続きしない

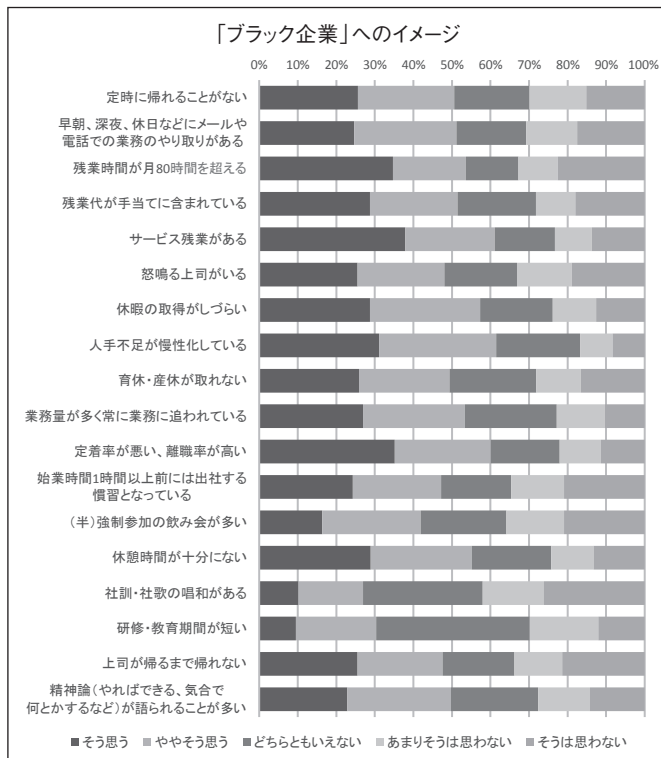
ブラック企業は、一見、収益率も高く、経営的には良く見えるし、一時的には成功した経営者として取り上げられることもある。しかし、次第にメッキが剥がれ、批判を浴びるようになると、今度はすべてが逆転する。最近では最も怖いのは、求人に支障をきたすことだ。

若い世代の就職、転職で重視する点を、さまざまなアンケートで見ると、もちろん給与がトップに来るが、実は職場の雰囲気、働きやすさなどが上位に挙がってくる。

つまり、社長が横柄で、独善的な経営を行い、従業員のみならず外注先や取引先ともトラブルを起こしているような職場では、とても雰囲気が良いとも、働きやすいとも評価されない。

今後、労働力人口は急減し、一方政府は雇用の流動化を促進しようとしている。雇用の流動化、すなわち転職の奨励である。労働力が余っていた時代だからこそ、生まれてしまったブラック企業も、不足する時代になれば、離職する従業員が続き、存続するのがむずかしくなる。当然の結果である。

ブラック企業に陥らないように、自社の経営を第三者的な視点で評価しなおすことも重要だ。



出所：MS&AD基礎研究所株式会社「『働き方』に関する意識調査」2017年



中村 智彦  
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常 勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・愛知工科大学工学部 非常勤講師

【専 門】 中小企業論・地域経済論

【略 歴】 昭和39年 東京都生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 (学術博士・名古屋大学)

【活 動】 総務省地域創造力アドバイザー・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長  
東京都北区ネスト赤羽支援機能拡充検討委員会座長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー  
ヤフー!ニュース <https://news.yahoo.co.jp/byline/nakamuratomohiko>

## “つながる ひろげる 連携の架け橋” 困難にチャレンジ! 未来の創造・地球との共生 ～仲間と共に希望をつなぐ 成長・躍動 新たな一歩～ 第75回中小企業団体全国大会（宮城県）

全国中小企業団体中央会と宮城県中小企業団体中央会は10月11日、「仙台国際センター 展示棟」（仙台市）において「第75回中小企業団体全国大会」を開催した。全国から中小企業団体の代表者ら約2,000名が参集し、本会からは会員組合等から29名が参加した。

本大会は、中小企業者で組織する全国約3万組合等からの意見を踏まえた決議を内外に表明し、国などに対し中小企業が抱える課題への対応策と振興策の強化を訴求することなどを目的として毎年開催しているもの。

大会は、宮崎政久厚生労働副大臣、伊藤哲也宮城県副知事、杉田剛仙台市経済局次長、関根正裕（株）商工組合中央金庫代表取締役社長から祝辞が述べられ、西村康稔経済産業大臣、宮下一郎農林水産大臣からビデオメッセージが寄せられた。

続いて、佐藤勘三郎宮城県中央会会長が議長に就任し議事が進行され、中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充、中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備など13項目の決議案が上程され、満場一致で採択された。続いて大会宣言、優良組合等の表彰が行われ、次回は福井県で開催することが発表された。

### ●決議項目 詳しくは全国中央会のホームページからご覧ください。 (<https://www.chuokai.or.jp/index.php/7516/>)

#### I 中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充

1. 危機的状況の克服、経済再生に向けた支援の拡充強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた支援強化
3. 中小企業団体中央会の指導体制・支援予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現

#### II 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 中小企業に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
2. 中小企業の人材育成・確保・定着対策

#### III 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

### ●大会宣言（抜粋）

中小企業・小規模事業者の経営は、度重なる自然災害等の発生、国際情勢の緊迫化、エネルギー・原材料価格の高騰や部品の調達難、賃金引き上げに対し、十分な価格転嫁が進まず、さらには、人手不足、賃上げ原資の確保に苦しむなど、極めて厳しい経営状況に直面している。その努力が一刻も早く報われるよう、国等に対して、迅速かつ手厚い総合経済対策を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、エネルギー・原材料・賃金について、適正な価格転嫁、安定供給の構築
  - 一、人材確保、生産性向上等、持続可能な成長を実現する対策の強化
  - 一、地域を支える中小企業を未来につなぐ事業承継対策の強化
  - 一、震災からの着実な復興、自然災害等からの復旧・支援対策の拡充
  - 一、中小企業経営の安定につながる労働・雇用・社会保険料対策の推進
  - 一、中小企業組合等連携組織対策の大幅な拡充
- 本日参集した一同は、厳しい経営環境を克服するために一歩でも力強く前進すべく、中小企業組合等連携組織の強みを最大限に発揮し、積極果敢に行動することを決意する。

### ●本県からの受賞者

#### 【優良組合】

- 岐阜県窯業原料協同組合（理事長 加藤誠二）

#### 【組合功労者】

- 亀井 高利 氏（関金属工業協同組合 理事長）

来年の全国大会は、2024年10月24日（木）に福井県で開催する予定です。会員の皆様には多数の参加をお願いいたします。



森全国中央会会長のあいさつ



## 「親子のおしごと体験教室～キッズ向け組合まつり～」を開催

中央会では、様々な業界の魅力、組合の活動等を広く発信し、業界の認知度・知名度向上を図ることを目的に、小学生親子向けのワークショップ「親子のおしごと体験教室～キッズ向け組合まつり～」を大型商業施設「モレラ岐阜」(岐阜県本巣市)で昨年度に引き続き開催した。

イベントでは、各業界のプロフェッショナルの皆さんが講師となり、ワークショップを通じて、小学生親子に業界・仕事の魅力を発信した。

7月、8月、10月で計6日間の日程で、会員10組合が出展し、総勢221の家族ら、297人の子どもの参加があった。

参加された親子からは、「楽しかった」や「またやってみたい」のほか、「普段できない貴重な体験ができた」や「体験したおしごとに興味を沸かした」といった意見が寄せられた。

出展した組合からは、「業界について伝える良い機会となった」や「地元で行うイベントに取り入れても良いのではと感じた」「イベントの様子をSNSで発信したことで問い合わせがあった」といった意見が寄せられた。



キッズ向け組合の様子

### 開催概要

【日時】 令和5年  
7月29日(土)、30日(日)、8月5日(土)、8月6日(日)、  
10月14日(土)、10月15日(日)  
①11時～12時、②13時～14時  
③14時～15時、④15時～16時】の全4回

【場所】 モレラ岐阜 1F ホワイトプラザ

【参加対象】 小学生親子

### 【岐阜婦人子供服工業組合】

『オリジナルシャツづくり』7月29日



### 【美濃和紙ブランド協同組合】

『美濃和紙de手づくりうちわdeco♪』7月29日



### 【岐阜県製本紙工業組合】

『オリジナルノートづくり』7月30日  
『オリジナル御朱印帳づくり』10月14日



### 【協同組合ケーエスジー、笠原陶磁器工業協同組合、美濃タイル商業協同組合、岐阜県窯業原料協同組合】

『オリジナルコースター・フォトフレームづくり』7月30日



### 【岐阜電気工事協同組合】

『電気工事体験』8月5日、10月15日



### 【岐阜県花崗岩販売協同組合】

『オリジナルキーホルダーづくり』8月6日



### 【多治見陶磁器卸商業協同組合】

『オリジナル貯金箱づくり』10月14日



## ドローン活用セミナーを開催

中央会は、9月13日及び9月20日の2回にわたり、「ドローン活用セミナー」を開催した。

講師はいずれも(株)ROBOZ代表取締役社長の石田宏樹氏が務めた。

第1回は、ドローンミュージアム&パークみの(美濃市)において、「ドローンってどんなもの?触れて動かしてみよう!」をテーマに、ドローン市場の今後の動向やドローンに関する基礎知識について説明があった後、19名の参加者全員がドローン操作体験を行った。

第2回は、ホテルグランヴェール岐山において、「ドローンを使った事業とは!?ビジネス展開を考えてみよう!」をテーマに16名が参加し、ドローンを活用した事業や安心・安全に飛行するためのルールについて説明があった。

石田氏は、「ドローン市場は今後、点検や物流の分野での活用が多く見込まれる。ドローンに関する法や資格は日々変化しているので、情報収集に努めてほしい。また、ドローンはあくまでも機械であり、万能ではないため、人が予測しない事態が起こり得ることに留意してほしい」と話した。



ドローンを操作する参加者

## インボイス制度対策セミナーを開催

中央会は、事業環境変化対応型支援事業の一環として9月22日にホテルグランヴェール岐山及びオンライン配信により「いよいよ始まる、インボイス制度に向けて必要な対策」をテーマとしたセミナーを開催した。

適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入が10月1日からと迫った中、消費税のしくみ、制度の概要、令和5年度税制改正による制度の改正点などの解説を行った。講師は、税理士森靖氏が務め、会場、オンライン合わせて59名が参加した。

森氏は、「税制において、これだけ特例のある制度は過去にない」と話し、制度の改正点を中心に解説し、参加者は「制度の特例など今まで知らなかった制度が分かりとても勉強になった」との声があった。



セミナーの様子

## 人材定着支援セミナーを開催

中央会は、10月17日にホテルグランヴェール岐山及びオンライン配信により「中小企業の人材定着のカギは『ワークエンゲージメント』!?～魅力ある職場づくりのための『ワークエンゲージメント』向上策について～」をテーマとした人材定着支援セミナーを開催し、会場、オンライン合わせて23名が参加した。

講師は(株)エンパワーコミュニケーション代表取締役の鎌田敏氏が務めた。

鎌田氏は、「『ワークエンゲージメント』とは、熱意、没頭、活力の3つの要素が満たされているポジティブな心理状態のことをいう。感謝の心は、心を元気にして仕事をするためのエネルギーとなり、仕事や組織へのエンゲージメントの土台である。心は空気感染するので、挨拶、笑顔、感謝の言葉、協力姿勢などで、心にとってよい空気をつくるのが大切である」と説明した。

参加者からは、「職場での挨拶、コミュニケーション、何でも話せる職場の空気作りが大切だと感じた」との声があった。



説明を行う鎌田講師



## サイバーセキュリティ対策セミナーを開催

中央会は、10月30日にホテルグランヴェール岐山で「サイバーセキュリティ対策セミナー」を開催し、13名が参加した。

研修会は2部構成で実施。第1部では、岐阜県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の担当者が講師を務め、「サイバー空間、サイバー攻撃の現状」をテーマに、サイバー犯罪の最新の手法について紹介した。

第2部では、岐阜県警察サイバー犯罪対策アドバイザーである中部学院大学教授の中川雅人氏が講師を務め、「中小企業における情報セキュリティ対策」をテーマに、サイバーセキュリティ経営の概要や情報セキュリティ対策の進め方について説明した。

その後、デモ機を用いて実際にパソコンがウイルス感染する瞬間を体験する「ウイルス感染体験」を行った。

参加者からは、「デモ機によるウイルス感染体験が参考になった」との声があった。



「ウイルス感染体験」の様子

## 県へ官公需に関する要望

中央会並びに岐阜県建設関連業団体部会は、10月19日に岐阜県議会棟にて、県土整備部、都市建築部、商工労働部に対し「地元業者の優先活用と分離・分割発注の推進」や「資材・運搬費の価格高騰及び人件費上昇等への配慮」、「働き方改革に向けた適正な工期の設定」などの県の官公需に関する9項目の要望を行った。

同部会では、毎年「官公需フォーラム」を開催して県担当部局との懇談会を実施している。このフォーラムに先立ち、事前に35組合等の部会員から寄せられた意見を取りまとめた要望活動を行っている。

当日は荒川晶一部会長と副会長5人らが、野崎県土整備部長、藤井都市建築部長、三木商工労働部長、それぞれと面談し、初めに荒川部会長より要望書の要旨を説明し、続いて副会長より県内建設関連業界の現状等を報告した。



右から野崎県土整備部長・荒川部会長

## 中小企業の官公需確保を目指しフォーラムを開催

中央会と岐阜県建設関連業団体部会（荒川晶一部会長）は、中小企業の官公需確保支援を目的として11月7日に「県官公需フォーラム」をホテルグランヴェール岐山で開催し、部会員25名が参加した。

県担当者との懇談会では、県担当者12名が出席し、荒川部会長並びに県土整備部の飯島竜二土木技監があいさつ。続いて、県担当者から事前に提出した要望に対する回答があった。

県議会幹部議員との懇談会では、野島征夫県議会議長、安井忠総務委員長、国枝慎太郎企画経済委員長、森益基厚生環境副委員長、長屋光征農林委員長、恩田佳幸土木委員長、藤本恵司教育警察委員長、森正弘自由民主党岐阜県連政調会長、猫田孝自由民主党岐阜県連会長代行（本部会顧問）にご出席いただいた。

部会員のうち11組合がエネルギー供給の安定化や物価高騰、働き方改革を意識した工期設定等について直接要望し、出席議員より要望に対する所見が述べられた。



フォーラムの様子

## 青年中央会 ガヤガヤ会議を開催

県青年中央会は、組合青年部及び青年部員同士のネットワークの強化を図るため、9月21日にホテルグランヴェール岐山で「組合青年部ガヤガヤ会議」を開催し、11名が参加した。

「組合青年部の活動について」をテーマに、始めに事務局より会員を対象に事前に実施した組合青年部の事業運営に係るアンケート結果について説明を行った。その後、参加者は3グループにわかれて、青年部の活動や抱えている課題、他の青年部に聞いてみたいこと等についてディスカッションを行った。

参加者からは、「青年部メンバーはライバルであり仲間であることを再確認できた。青年部メンバーの高齢化が進んでおり、人員の確保が難しくなっていることが共通の課題として挙げられた。課題に対して取り組んでいる青年部もあり参考になった」との声があった。



ガヤガヤ会議の様子

## レディースクラブが「全国フォーラムin岡山」に参加

「令和5年度レディース中央会全国フォーラムin岡山」が11月1日にホテルグランヴィア岡山（岡山市）で開催され、本会レディースクラブからは7名が参加した。

フォーラムでは、公益財団法人大原美術館代表理事の大原あかね氏による「過去の歴史と明るい未来の結束点としての現在」をテーマとした基調講演と、(株)リクルートジョブズリサーチセンター長の宇佐川邦子氏をコーディネーターに、ダイヤ精機(株)代表取締役の諏訪貴子氏による「町工場の娘～主婦から社長になった2代目の10年戦争～」をテーマとした講演及び岡山県ものづくり女性中央会の正副会長4名のパネラーによるパネルディスカッションが行われた。

フォーラム終了後には、交流懇親会が行われ、各県からの参加者と交流を深めた。



全国フォーラムの様子

## 組合まつり in TOKYOへ出展

中央会は、11月8日～9日に東京国際フォーラムで開催された「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典!～」に出展した。

「組合まつり in TOKYO」は、東京都中小企業団体中央会が主催し、「中小企業受注拡大プロジェクト」の一環として、東京と全国の中小企業組合が大集結するイベントである。

本会では、「岐阜の魅力発信—岐阜のモノ・コト満載—」をキャッチコピーに、会員及び組合員の協力を得て、美濃焼や飛驒の家具、プラスチック製品等の岐阜の伝統産業と下呂温泉、飛驒高山、長良川温泉を中心とした観光資源のPRを行った。

来場者からは、「自宅で使用している物を岐阜の企業が作っているとは知らなかった」や「オンラインサイトで他の商品も見てみる」、「長良川温泉から岐阜城が見えるなんて知らなかった」などの声が聞かれた。



出展ブースの様子



## 中央会④活動

### あいおいニッセイ同和損害保険との連携協定「締結記念セミナー」を開催

中央会は、10月27日にOKBふれあい会館であいおいニッセイ同和損害保険との連携協定「締結記念セミナー」を開催し、24名が参加した。

中央会では、令和5年7月12日にあいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「地方創生に向けた事業者の経営力強化支援等に関する連携協定」を締結し、本セミナーはこれを記念して開催された。

第1部では、「元NHK「きょうの健康」キャスターが伝授『病気の予防につながる食事と運動とは?』～経営者の健康リスクは会社の経営リスク～」をテーマに、NHKEテレ「TVシンポジウム」医療シンポジウム司会の久田直子氏が講師を務め、「一人ひとりが健康に関する知識を持ち、従業員の健康を考えた健康経営を推進することが大事である」と説明した。

第2部では、「迫る!カーボンニュートラル・ビジネスと人権対策『100年企業を目指す組合や中小企業のためのSDGs経営』」をテーマに、株式会社ふるサポ代表取締役・SDGsコンサルタントで一般社団法人SDGs・EGS経営コンソーシアム理事の中島達朗氏が講師を務め、「Z世代の就労意識は変化しており、就職面談では就職希望者からSDGsについての企業活動が問われる。SDGsは、リスクとチャンスの時でもあり、未来のお客さまの考えとも言える」と説明した。



セミナーの様子

## 組合等④活動

### 2023飛騨の家具®フェスティバル開催

協同組合飛騨木工連合会（白川勝規理事長）

協同組合飛騨木工連合会は10月21日から25日に、「2023飛騨の家具®フェスティバル」を開催した。飛騨・世界生活文化センターをメイン会場とし、各企業が一堂に会しての開催となった。

今回のメインテーマは、飛騨デザイン憲章第2条の「人がつくる～人がつくり、人をつくり、人とある～」とし、テーマブースにおいては、飛騨地域で工房を持ち活躍している作家が出店シクラフト等を販売。また、昨年も好評であったゲストを迎えての「トークショー」も開催された。

その他にも、恒例の「匠・DNA展」や「飛騨の工房家具新作展」などが行われた。

当組合の袈裟丸専務理事は「本年度新しく組合員となった3社も含め、ここ数年で最多企業の展示会となった。ショールームでの展示にはない一体感で飛騨の家具をPRすることができた。」と話した。



メイン会場の様子

### 県立岐南工業高等学校で交通安全教室を開催

岐阜オートバイ事業協同組合（兒玉健理事長）

岐阜オートバイ事業協同組合は9月4日に、県立岐南工業高等学校自動車工業科の1年生を対象に交通安全教室を開催した。

本教室では実技と座学を実施。実技では、自動車走行時の注意点について、実際に生徒が自動車の運転席に座り、運転席から自転車がどのように見えているのかなどを体験。また座学では、自転車の交通ルールなどについて説明がなされた。

兒玉理事長は「高校生が交通安全に興味を持ち、卒業後も事故防止出来る様にと教育委員会から要請を受けて開催した。学科と実技に分けて実践的な授業を行い、熱心な生徒さんに学んでいただいた。」と話した。



兒玉理事長 座学の様子

## 第79回たじみ陶器まつりを開催

多治見美濃焼卸センター協同組合（笠井政志理事長）

多治見美濃焼卸センター協同組合関係者で組織するたじみ陶器まつり実行委員会では10月8日・9日に、多治見美濃焼卸商業団地で「第79回たじみ陶器まつり」を開催した。

昨年までのコロナ禍では陶器市のテントを分散させ、組合会館ホールでのイベントも制限していたが、今回のお祭りからコロナ前のように組合会館と卸商業団地の通りをメイン会場に陶器市テントを配置して盛大に開催した。ホールでのイベントも、地域の学校の音楽演奏やダンス、ロクロ体験などのワークショップも行い2日間賑わいを見せた。

組合の柚木専務理事は「秋の大切なお祭りで、美濃焼や卸商業団地の情報発信の良い機会であり、食器類の売上も好調であった。」と述べた。



陶器まつりの様子

## 織部ヒルズ陶器市を開催

協同組合土岐美濃焼卸センター（加藤東衛理事長）

協同組合土岐美濃焼卸センターは10月28日・29日に、織部ヒルズで「織部ヒルズ陶器市」を開催した。

美濃焼の一大産地・岐阜県土岐市にて開催を重ねてきた「織部ヒルズオータムフェア」を、2023年は多くのファンを抱えるイベント「器と暮らし市」とタイアップして実施。今回で24回目の開催となり、織部ヒルズ内の各社ショップにおいては、豊富な品ぞろえに加え暮らしを豊かにする道具や、こだわりの珈琲と焼菓子、フードトラックも準備し陶器市に彩りを添えた。クラフト市では作り手の個性が光る作家ものから食卓を彩る素敵な器が揃い、来場者は買い物とイベントを楽しんだ。

組合担当者は「新たな試みとして、こけ玉・ミニ盆栽づくり、絵付け体験、金継ぎの箸置きづくりといったワークショップも充実させ、こうした取り組みによりこれまでと違った客層を誘致することにつながったように感じた。今後もより多くの来場者の暮らしを豊かにするイベントとして継続していきたい。」と抱負を語った。



陶器市の様子

## SPICE UP! CARNIVAL カレーと美濃焼と音楽の祭典

多治見陶磁器卸商業協同組合青年部（加藤豊会長）

多治見陶磁器卸商業協同組合青年部は10月28日に多治見市本町の陶都創造館で「SPICE UP! CARNIVAL カレーと美濃焼と音楽の祭典」を開催した。当イベントは、陶都創造館周辺で秋のイベントが無かったため、当組合青年部が主導して令和元年から開催しており今回で5回目。多治見市周辺の有名店舗のスパイスカレーを味わうこともでき、ステージでの音楽ライブと合わせて1日限定で開催した。

会場では、今イチオシの美濃焼カレー皿に出店者のスパイスカレーを盛り付けしたポスターが展示され、来場者の目を引いていた。

当組合青年部の加藤会長は「美濃焼も含めた地元の食・芸術文化を知って頂く良い機会。秋のイベントとして浸透してきており、これからも続けていきたい。」と述べた。



イベントの様子



## 2023美濃焼新作展示会

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会（松原朝男理事長）

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会は10月14日から16日に多治見市東町のセラミックパークMINOで「2023美濃焼新作展示会」を開催した。美濃焼の技術力、デザイン力等を高め、需要開拓につなげるために毎年開催しているもので、連合会単組12組合の組合員から26社、62作品が出展された。

家庭での使用を意識した収納面や鮮やかな色合い、機能性を考慮した作品などが出展された。グランプリの中小企業庁長官賞には(株)深山の飲食器シリーズ「luonto (ルオント)」が選ばれた。フィンランド語で自然を意味する言葉を品名に人の手で作られたように自然な丸みをおびたシリーズの作品である。この他、準グランプリ 経済産業局長賞には(株)東産工業所の「Blur」が、準グランプリ 中部経済産業局長賞には小田陶器(株)の「momotto ももっと」が、岐阜県中央会会長賞には(株)山善製陶所の「かいらぎ」が選ばれた。



グランプリ



中央会会長賞

## 下石どえらぁええ陶器祭りを開催 県立土岐紅陵高等学校とコラボ

下石陶磁器工業協同組合（加藤晃一理事長）

下石陶磁器工業協同組合は関係者で構成する実行委員会主催で、11月3日・4日に「下石どえらぁええ陶器祭り」を開催した。同町の焼き物の魅力を伝えるため25年間開催している。

コロナ禍では「下石窯元まつり」の名称で窯元巡りを中心に開催されたが、今回はメイン会場を組合会館から町内のとっくりグラウンドに変更し、駐車スペースなど利便性を向上させ開催した。お祭りでは各窯元の開放とグラウンドでの出店を合わせて26社が参加し、来場者は器の買い物を楽しんだ。

地元の県立土岐紅陵高等学校とのコラボとして、生徒がデザインしたSNSのアイコンを使いInstagram等SNSを使い窯元の情報発信を行った。イベントでもスタッフとして参加し、絵付け体験ブースなどを担当し、祭りを盛り上げた。

加藤理事長は、「25年間続いている人気のイベントである。普段見せることのない工場であるが、見てもらうことで窯元の発信と刺激になるため、楽しませる工夫もしていきたい。」と抱負を語った。



絵付け体験の様子

## 50周年記念式典を開催

協同組合日本ライン花木センター（澤田哲郎理事長）

協同組合日本ライン花木センターでは11月12日に、運営する共同施設が今年で50周年を迎えることを記念し、同施設において記念式典を開催し、関係者ら約60名が参加し、節目を祝った。

式典では歴代理事長2名と組合員5名への感謝状授与のほか、職員5名への表彰が行われた。

そのほか会場では、来場者向けの50周年記念イベントとして、子ども向けのワークショップや培養土特価販売&鉢底石詰め放題が開催された。

開会にあたり澤田理事長は「お客様より信用・信頼され、お客様には誠意ある対応をモットーに、今後さらに50年継続できるよう、組合員、組合職員一丸となって努力していく。」と力強くあいさつした。



式典の様子



全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和4年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひご覧ください。「組合事例検索システム」<https://www.chuokai.or.jp/index.php/jireisearch/>（URLが変更されました。）

## 千葉県電気工事工業組合

組合と社会を【まるで電流】のようにつなげるSDGs

主な業種	電気工事業				
住所	〒260-0005 千葉県千葉市中央区道場南1-9-15				
URL	<a href="http://chidenko.jp/index.htm">http://chidenko.jp/index.htm</a>				
設立	昭和40年10月	組合員	1,013人	出資金	60,748千円

### ■ 背景・目的

当組合は電気工事業者が大同団結して組織された協同組合で、50年以上の歴史を持つ。電気工事士免状交付事業や講習事業を展開する一方で、電気工事に付き物である廃電線のリサイクルや電気工事業界で女性が活躍できる場の創設に対する問題意識を常に持ちながら活動している。今般、上層部の当事者意識の高さから女性部を設立するとともにNPO法人と協力体制を築くことで、福祉施設が抱える障がい者の就労機会問題の解決の一助としてリサイクルを位置付けた。

### ■ 取り組みの手法と内容

当組合の特徴は、上層部の当事者意識の高さと外部連携を積極的に取り入れる視野の広さである。廃電線のリサイクルは運搬や分別といった手数の多さから取り組みに対する心理的障壁が働きやすかったが、NPO法人との連携を役員自ら作り出すことで、NPO法人を経由した福祉施設との分業体制を敷く廃電線リサイクルルートを確立させた。組合は収集した廃電線をNPO法人に提供し、運搬や分別等の手間部分を排除しながら廃電線をリサイクルできる一方で、福祉施設ではNPO法人から分配される廃電線の分別作業が障がい者の継続的な就労機会の確保に繋がり、リサイクルによる環境保全に限定されない社会貢献を実現させた。

女性部の設立では委員会の委員を筆頭に、一支部にあった女性グループを組織化させている。グループ内には活動に対する温度差もあったが、女性が働きやすい環境整備は巡り巡って自身の労働環境改善に繋がると説き、1人の脱退者も出さずに女性部を設立させた。女性部の会長は組合の役員にも就任しており、電気工事業界における女性の地位を確立させたパイオニアといえる。

広い視野と当事者意識の高さが、性別や業種の垣根をこえたSDGsを実現させる。当組合は組合内で完結させることなく、今後も外部連携等による副次的な効果を狙う。

### ■ 成果とその要因

組合の広報活動も手伝い、廃電線のリサイクルでは令和3年度に廃電線の収量569kgを記録し今年度は1tに到達する見込みである。女性部でも新たに1名の参加希望者がおり、女性部の存在が広く認識されつつある。今後は電気自動車用充電設備整備にも着手する考えがあるので、広い視野を持つためにも既存事業を含めた外部連携を模索していく。

### ❗ ポイント!

組織上層部の高い当事者意識を武器に、自身が抱える課題を解決するに留まらず、外部組織の抱える課題の解決にも一石を投じ、みんなが参加できる社会の構築に貢献する。



福祉施設における障がい者の作業風景



分別後の廃電線（左：被覆、右：芯線）



R3年3月 千葉県電気工事工業組合 女性部設立時





# 県内中小企業主要業種の景気動向

(10月末調査)

中小企業団体情報連絡員70名の情報連絡票から

過去のものを含め、詳細のものは、中央会HP (<http://www.chuokai-gifu.or.jp/chuokai/report/report01.html>) に公開しております。

## (I) 10月の特色

- ◆景況感DI値マイナス27 前月比7ポイントの悪化  
～製造業の景況感DI値 前月比10ポイントの悪化～
- ◆売上高DI値 製造業は前月比横ばい、非製造業は前月比12ポイントの悪化  
収益状況DI値 製造業は前月比8ポイントの悪化、非製造業は前月比3ポイントの改善  
～原材料・資材・エネルギー価格の高騰・高止まりによる経営へのマイナス影響は続いている～
- ◆引き続き消費者物価上昇による買い控えの影響がみられる
- ◆景況感についての先行き不安と二極化の傾向を懸念する声が寄せられる

10月次景況	
項目	DI値
景況	-27 (-7)
売上高	-16 (-6)
販売価格	28 (-11)
収益状況	-40 (-3)
資金繰り	-8 (±0)
雇用人員	-3 (7)

カッコ内は前月比増減ポイント

製造業		前年同月比					
区分	業種	調査項目					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	▲	○	▲	▲	△	△
	食肉(国産)	○	△	△	△	△	▲
	菓子	○	△	▲	△	△	△
	米	▲	○	▲	△	△	▲
繊維・同製品	製糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業物	△	△	△	△	△	△
	毛織物	△	○	△	△	△	△
	合成繊維織物	△	△	▲	△	△	△
	メンズアパレル	△	△	△	△	△	△
	婦人・子供服	○	▲	△	△	△	△
	縫製(既製服)	▲	△	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	▲	△	▲	△	△	▲
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	▲	○	▲	△	△	▲
	東濃ひのき	▲	▲	▲	△	▲	▲
紙紙加工品	機械すき和紙	▲	○	▲	△	△	▲
	特殊紙	○	△	▲	△	△	△
	紙加工品	▲	○	▲	△	△	▲
印刷	印刷	△	△	△	△	△	△
化学ゴム	プラスチック	▲	○	▲	△	△	▲
窯業・土石	陶磁器(工業)	△	○	△	△	▲	△
	タイル	▲	○	▲	△	△	▲
	窯業原料	△	△	△	△	△	△
	石灰	▲	○	▲	△	▲	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	▲	△	△	△	△	△
	鋳物	△	△	△	△	△	▲
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	▲	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	▲	△	▲	△	△	△
	県金属工業団地	△	△	▲	▲	△	△
	可児工業団地	○	○	△	△	○	△
輸送用機器	金型	○	△	▲	▲	△	▲
輸送用機器	輸送用機器	○	△	△	△	△	△

非製造業		前年同月比					
区分	業種	調査項目					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	○	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸	○	○	△	△	△	△
	機械・工具販売	▲	△	▲	△	○	▲
小売業	青果販売	△	△	△	△	△	△
	水産物商業	△	○	△	△	△	△
	家電機器販売	▲	○	▲	△	△	▲
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	○	△	△	△	○
	石油製品販売	○	○	△	△	△	△
	共同店舗(飛騨)	▲	△	▲	▲	△	△
	生花販売	▲	▲	▲	▲	△	△
商店街	岐阜市商店街	▲	△	▲	▲	△	▲
	大垣市商店街	○	○	△	△	△	△
	高山市商店街	○	○	△	△	△	○
サービス業	自動車車体整備	○	○	△	△	△	△
	長良川畔旅館	△	△	△	○	△	△
	下呂温泉旅館	○	○	○	△	△	△
	高山旅館	○	○	○	○	△	○
	クリーニング	▲	△	▲	▲	△	▲
	広告美術	▲	○	▲	▲	△	△
	旅行業	○	○	△	△	△	△
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	○	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	▲	△	△	△	▲
	電気工事	▲	○	▲	△	▲	▲
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	○	○	○	○	△	△
	室内装飾	▲	▲	▲	△	△	▲
運輸業	木造建築	▲	△	▲	△	▲	▲
	貨物運送(岐阜地区)	▲	△	▲	△	△	▲
	軽運送	▲	△	△	△	△	△
貨物運送(県内)	△	△	▲	△	△	△	

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]  
△: [不変]  
▲: [減少]、[下降]、[悪化]

## 中央会・退職等のお知らせ

中央会では、次のとおり事務局職員の退職がありましたのでお知らせいたします

### ○退職（8月31日付）

仲 美智子（旧姓：細井）（総務課）



人材の定着につながります!

# 中退共

CHU-TAI-KYO

中小企業退職金共済事業本部

- 国の退職金制度
- 掛金は全額非課税
- 外部積立型で管理が簡単
- パートさんの加入もOK
- 掛金の一部を国が助成

詳しくはホームページをご覧ください。

(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部  
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

## DXについて知ろう!

中央会では、中小企業・小規模事業者の皆様のDX導入推進を目的として「バックオフィス業務等DX導入支援事業」相談窓口を設置し、専門家による相談窓口対応や組合向けの啓発セミナー及び個別相談会の開催、バックオフィス業務に係るクラウドサービスなどの導入支援を実施しています。

このコーナーでは、本事業の専門家である石井克成DXアドバイザーに毎号、バックオフィス業務等へのDX導入に関して、「どのようなツールが存在し、どのように活用できるのか」というテーマでコラムをご執筆いただきます。

今回は、話題の生成AI「Chat GPT（チャットGPT）」をご紹介します。

【お問合せ窓口】 TEL:058-277-1104

### 自動でワード文書が作成できる

Chat GPT（チャット GPT）。

一度は、耳にされたことがあると思います。

いわゆる「生成AI」と呼ばれるものです。

「AIなんて自分には関係ない」

と、思われるかもしれません。

しかし、ジワジワと私たちの周りに浸透しつつあるのをご存知ですか？

私たちビジネスマンは、日々、ワードやエクセルを活用しています。



例えば、お客様に提出する提案書の作成を、「AI」が代わりに作成してくれるとしたら。

例えば、「前回の資料と同じように作成してほしい」「対象のファイルの中の資料を活用して作成してほしい」といった指示を行うことで、「AI」が自動で書類を作成してくれるとしたら。

便利になると思いませんか？

提案書を作成する際、私たちは、真っ白なワード画面に立ち向かって何時間も浪費していました。

そして、思ったように操作できないもどかしさを感じ、ストレスをためまくっていました。

それが、生成AIがワードに組み込まれることによって、真っ白なワード画面に立ち向かうのではなく、下書きができている状態で立ち向かうことが可能になります。

さらに、自分が思い描くデザインを生成AIに指示するだけで書類を構築してくれるので、ワードの操作方法に悩む必要がなくなります。

そんな環境が当たり前になったら・・・

あなたがワードと格闘する時間が格段に減り、他のよりクリエイティブな仕事に時間を割くことが可能になります。

生成AI。

まだまだ発展途上にあります。

しかし、世界中のIT企業が巨額を投じて開発を進めています。あと数年で「生成AI」が当たり前になる時代が、必ず来ます。

「生成AI」が当たり前の時代が来る前に、是非、「生成AI」に興味をもって接するようにしてください。

近い将来、必ず、役に立つ時がきます。

株式会社あずきプランニング  
代表取締役 石井 克成 氏  
<https://azukiplan.co.jp/>



石井克成 氏



# キャリア人材バンク®

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の就業を支援します。



## 登録者様

- ・専任コンサルタントがサポート
- ・他の職業紹介機関と併用が可能

利用料無料



## 企業様

- ・企業力を強化したい
- ・人材を確保したい

# 60歳以上の 再就職をサポート



公益財団法人

**産業雇用安定センター 岐阜事務所**

〒500-8163 岐阜市鶴舞町 2-6-7 ワークプラザ岐阜 3階

電話番号 **058-246-7060** FAX番号 058-246-7062

【ご利用時間】 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

[www.sangyokoyo.or.jp](http://www.sangyokoyo.or.jp)

産業雇用

検索



マンガ  
キャリア人材バンク

# 海外知財訴訟費用保険制度

## 安心も海をわたります。

海外での知的財産権訴訟リスクは、年々増加傾向にあります。不安を海外展開の重荷にしないために、ビジネスといっしょに、安心もお供します。



### 海外知財訴訟費用保険制度の特徴

#### 1 保険制度の概要

中小企業が海外において、知的財産権に関する損害賠償請求等の訴訟の提起を受けた場合に、応訴等するための費用を補償します。中小企業基本法で定められている中小企業者である場合、各年度1回まで、国から保険料の1/2(2年目以降の場合は、保険料の1/3)が補助されます。

#### 2 加入対象

全国中小企業団体中央会、または都道府県中小企業団体中央会の会員、もしくは会員の構成員である中小企業者かつ、みなし大企業でない場合  
※中小企業基本法で定められている中小企業要件及び、みなし大企業については、パンフレット等でご確認ください。

#### 3 保険期間

2023年7月1日 午前0時～2024年6月30日 午後12時  
※中途加入は、毎月1日 午前0時～2024年6月30日 午後12時  
(保険料補助制度の関係から、最終加入始期日は2024年2月1日となります。)

#### 4 補償対象地域

以下の1、または2のいずれかからの選択  
1：アジア全域(日本、北朝鮮を除く) 2：全世界(日本、北朝鮮を除く)  
※「アジア」の定義は、外務省ホームページの「地域別インデックス(アジア)」に準拠します。

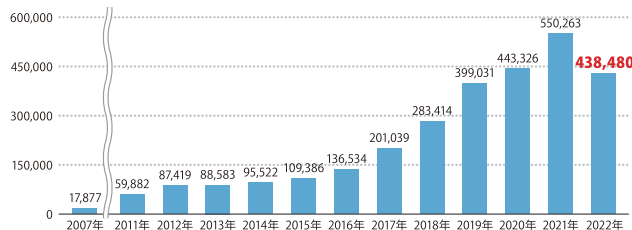
#### 5 支払限度額と免責金額について

支払限度額：500万円・1,000万円・3,000万円・5,000万円のいずれかからの選択(1請求または1訴訟・保険期間中)  
免責金額(自己負担額)：10万円(1請求または1訴訟)

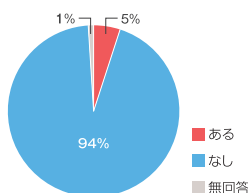
### 海外知財訴訟のリスク

#### ■ 中国における知的財産民事訴訟件数の推移

日本の中小企業が海外での知的財産侵害を理由とする係争に巻き込まれるリスクは、増加傾向にあります。高額な訴訟費用が必要となった場合、係争に対応できず、事業撤退や会社の存続の危機に追込まれる可能性があります。



#### ■ 海外の企業から権利侵害をしていると指摘を受けた経験



外国出願を行っている中小企業への調査によれば、1,611社のうち全体の5%にあたる80社が、海外企業から権利侵害していると指摘を受けた経験があると回答しています。

「令和4年度 中小企業知的財産活動支援事業費補助金に係るフォローアップ調査報告書」から加工・作成(特許庁)

◎本内容は、海外知財訴訟費用保険制度の概要を説明したものです。実際の加入及び詳細は、引受保険会社の約款、パンフレット等に従います。  
◎本制度は、中小企業等海外出願・侵害対策支援事業費補助金(海外知財訴訟保険事業)による特許庁の支援を受けています。

■ お問合せ先  
全国中小企業団体中央会

[https://www.chukai.or.jp/archive/insu/chizai-insu\\_about.htm](https://www.chukai.or.jp/archive/insu/chizai-insu_about.htm)  
※上記URLもしくは右記QRコードより、パンフレットのダウンロードができます  
※お見積り、ご加入手続きは引受保険会社にお問合せ下さい



■ 引受保険会社(参入順)  
○損害保険ジャパン株式会社 ○東京海上日動火災保険株式会社 ○三井住友海上火災保険株式会社

■ 制度運営  
全国中小企業団体中央会

